

# 2

## ■朝日連峰に広がるブナの大原生林

### 朝日スーパー林道 (岩船・朝日村)

■環境：山地  
 ■対象：一般  
 ■期間：5月中旬～8月下旬

新潟県朝日村と山形県朝日村にまたがり、林道から県境まで約37kmある広大なブナの大原生林。マタギの里として知られ、コノハズク、クマタカといった野鳥からツキノワグマまで動植物の宝庫。

新潟県北部の多雪地帯はブナの大原生林に覆われ、雪の恵みをブナがたくわえ、私たちに四季折々の豊かな表情を見せてくれる。足元から上空まで見飽きることがない。

#### 〈三面ダムから野営場まで〉

猿田川野営場までは、整備された舗装道路が続くが、車の運転には細心の注意が必要である。途中、

大沢橋と猿田ダム展望台で休息することにしよう。車を出ると、遠く近くオオルリやキビタキなど、小鳥たちの声に交じってキツキ類のドラミングが聞こえてくる。時にはブッポウソウやアオバト、オオアカゲラが姿を見せ、山のりょう線近くを帆翔（はんしょう）するハヤブサやクマタカの飛影にも出会えるだろう。

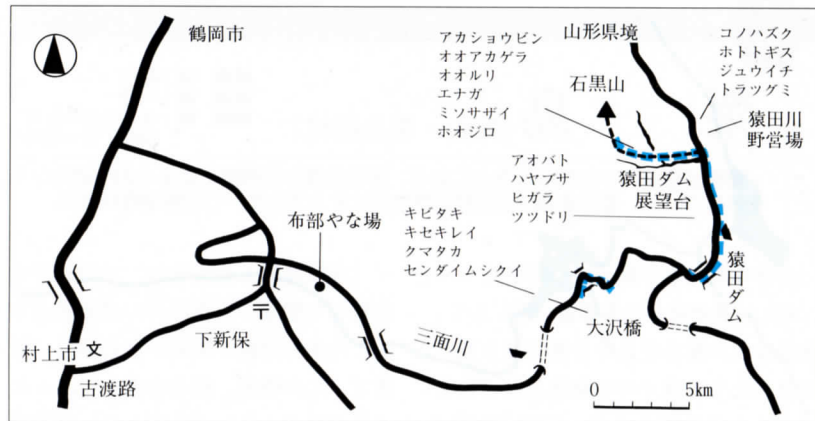
#### 〈コノハズクが鳴き交う深山の夜〉

猿田川野営場は、朝日山地のただ中にある。夜のと

ばりがありると、昼の鳥と入れ代わりにホトトギスやジュウイチ、ヨタカ、トラツグミ、そしてコノハズクが鳴きだす。深山の谷あい、夜の静寂に流れる鳥の声は幽玄な情緒を漂わせる。どの鳥もそれぞれに味わいがあるが、中でもコノハズクは人の心を揺らすように鳴き続ける。時には、テントのすぐ



大きなブナの木が多い



近くに来て、寝付けなほど鳴き続けるだろう。

#### 〈ブナ林の早朝、小鳥たちの合唱〉

野営場の朝は小鳥たちの声で目が覚める。早速起きだして出発することにしよう。コースを川下にとると、道の両側にはブナやミズナラの林が続き、キビタキやエナガ、ヤマガラなどの声が聞こえてくる。小鳥たちの合唱は、明るくなるにつれて一段とにぎやかになる。中でも、明るくリズムカルにさえずるキビタキの声は、心弾ませてくれる。遠くからは猿田川の瀬音によってアカショウビンやキセキレイ、カワガラスの声も聞こえてくる。

しばらくして右手の石黒山登山道へ入ることにしよう。やや開けた沢ではオオルリやホオジロ、クロツグミが次々と姿を見せる。こずえの先のオオルリは、双眼鏡の中で精いっぱい歌い、

ルリ色の羽が朝日に映えている。石黒沢の水辺近くへ出るとミソサザイが甲高い美しい声をあたりいっぱい響かせてさえずっている。

道が急坂にかかるあたりで折り返し朝食を楽しみに帰路につくことにしよう。

(大滝清二)

#### メモ

**交通** JR村上駅前から三面ダム行きのバスが1日9往復でている。三面ダムから猿田ダムまでは約10km。車なら村上市内から約1時間。

☐ 猿田川キャンプ場と二子島森林公園にそれぞれ10～20台駐車スペースがある。

**道草** 高根地区の奥、鈴川渓谷には、日本の滝100選に選ばれた「鈴が滝」があり、隠れた人気となっている。滝の水量も豊かで、初夏からは鳥の声と滝の音が競いあい、涼感が味わえる。